

Produced by KATOKI HAJIME

GUNDAM FIX FIGURATION

#0024

WAVE RIDER

ウェイブ・ライダー(WR)とは、大気圏突入の際に発生する極超音速領域での衝撃波(ショック・ウェイブ)を利用して推力を得るタイプの機体のことで、機体下面に発生する圧縮波に「波乗り」することで大気圏突入時の高熱などを減免する。さらにZガンダムは大気圏内での「飛行」も可能で、WR形態時には高速移動のみならず、さらにもう一機のMSを積載するほどの推力を発揮する。



ハイパー・メガ・ランチャー付属
ウェイブ・ライダー形態にも装着が可能

U.C.0087年3月、ティターンズからRX-178 ガンダムMk-IIを奪取したエゥーゴは、その機体を解析しムーバブル・フレームの技術を手に入れた。かねてよりAE(アナハイム・エレクトロニクス)とともに推進していた「Zプロジェクト」にそのデータを導入し、同年10月、WR(ウェイブ・ライダー)への可変機能を持つTMS(トランスフォーマブル・モビルスーツ)、Zガンダムを完成させた。この機体の最大の特色は、標準装備のままでも、大気圏へ再突入する機能を有することで、WR形態では再突入中の機動、戦闘さえ可能である。また大気中においてはMS形態に比べて「巡航能力」が向上するため、航空機に準じた運用も可能となっている。Zガンダムは、ビーム兵器の強化やジェネレータの大出力化、内装兵器の統合化など、当時のMSの進化の最先端を決定していた機体であり、その先見性は破格のものであった。後に多くの派生機を生み出すのみならず、それ以降のMSそのものにも変革をもたらした画期的な機体なのである。

MSZ-006 Z GUNDAM

ASSIGNMENT: A.E.U.G.
MODEL NUMBER: MSZ-006
HEIGHT: 18.80m
HEAD HEIGHT: 19.7m
WEIGHT: 28.7t
FULLY EQUIPPED WEIGHT: 62.3t
GENERATOR OUTPUT: 2,020kw
PROPULSION ROCKET THRUSTERS: 112,800kg
MATERIAL: GUNDALUM Y
ARMAMENTS: 90mm VALCAN GUN,
BEAM RIFLE/LONG BEAM SABER,
BEAM SABER/BEAM GUN,
GRENADE LAUNCHER,
HYPER MEGA LAUNCHER
etc.



DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING: Takanashi Rei (RN) PHOTOGRAPHY: Takase Yuuji (Takase Photo Office)
FINISHING: Hasei Shoichi EXPLANATION: Watanabe Toshihiko (SHINDOSHIA)
COLORING: Miyashita Kenichi INSTRUCTION: Takahashi Masatomo
MARKING: Kanno Yuji (Jam) COMMERCIAL DESIGN: Uno Daisuke (DASHAND)

モビルスーツ形態から
ウェイブ・ライダー形態に変形可能。



歴代ガンダムの中でも、トップを競う人気のゼータです。最初のガンダムが、当時はまだ変形合体おもちゃの代名詞だったロボットアニメーションの市場に、際立った表現でリアルロボットというジャンルを開いたのがあのころの時流でしたから、ゼータのデザインが発表された時には、ウェイブ・ライダーに変形する。この新ガンダムに対して、リアル派のファンからは戸惑いの声も上がりました。しかし、今日のガンダムにおいて可変MSが不可欠の存在となっている事から評すれば、ガンダムシリーズの第2作目で、主役機ガンダムに大胆な変形を取り入れたことは、監督を始め、当時の関係者の慧眼に他なりません。多くのスタッフがアイデアを投入し、デザイナー・藤田一記氏によって仕上げられたゼータのデザインは、MSのマスターピースのひとつであると言えます。

デザイナー・カトキハジメ

六甲模型教材社本店